



# 向陽だより

杉並区立向陽中学校発行  
平成 29 年 1 月 16 日 1 月号 (通算 306 号)  
<http://www.suginami-school.ed.jp/kouyouchu/>

《教育目標》  
◇よく考える人  
◇思いやりのある人  
◇たくましい人  
『人間賛歌』の教育

## 開校 70 周年をスタートに

校長 菅野 武彦

年末年始をふるさと福島で過ごした。両親は 80 歳半ばに差しかかるが、二人とも「足腰が弱った」と言いながらも健在だ。とてもありがたい。父は典型的な亭主関白。何事にも手堅くこだわりが強い。一方、母は天真爛漫でおしゃべり好き。母はよく「口げんかが絶えないよ」と言って笑っている。

今回、その母のことで分かったことがある。ぼけ防止と称して、ここ数年来、ノートに新聞記事の書き写しをしている。“福島民報”の小欄「きょうの歴史」は、その日付の過去の出来事を 100 字程度の記事にまとめ二つ紹介している。例えば、大みそかの「きょうの歴史」の一つは、“1927 年 除夜の鐘を放送”というタイトルだ。日本放送協会 (NHK) のラジオが東京・上野寛永寺の除夜の鐘を初めて放送したことを伝えている。現在の「ゆく年くる年」に引き継がれ、紅白歌合戦とともに大みそか NHK の高視聴率番組であると。

母は今まさに“紅白”を見ながらその「きょうの歴史」を書き写している。時々“紅白”の歌に合わせて口ずさむ。気分よさそうでもって母らしい。一方、父は新聞の切り抜きの“紅白”出演順の表の確認に余念がない。書き写しはすでに 6 冊目になるという。私は母の日々の習慣を初めて知り、目を丸くした。思わずノートをぱらぱらとめくった。どのページも見覚えのある母の字でぎっしりだ。“ぼけ防止”と周り人を煙に巻いたつもりでいるが、私には分かる。母は書き写しで“言葉と史実”を学んでいるのだ。84 歳にして新たな挑戦である。

無性に気持ちの昂(たか)ぶりを覚えた。母のノートがまぶしかった。「おまえは何か挑戦してるかい？」と愉快そうに語りかけてい

るようだった。私は“挑戦”とはっきり言えることをしているだろうか。答えに窮(きゆう)する。自信をもって“挑戦”だと言えるかどうかあやしいからだ。恥ずかしい限りだ！ これまでも挑戦したことがなかったわけではないが、中途半端の感が否めない。母に刺激を受け、私も学び続ける！ そして、“挑戦”と言えることをやる！ そんな 1 年にしたいと心に誓った。そう心に誓う訳がある。

「我が国と世界が大きな転換期を迎えた現在、この教育改革は、幕末から明治にかけての教育の変革に匹敵する大きな改革であり、それが成就できるかどうかは我が国の命運を左右すると言っても過言ではない」(高大接続システム改革会議「最終報告」2106.3.31 より抜粋)。折に触れて話題にしてきたことだが、学校はかつてない変革に直面しようとしている。今年度の取組の目玉である“自育力”と“表現力”の育成はこのことを視野に入れてのこと。生徒と保護者アンケートの結果、教員の自己評価の結果を基にこの取組を検証する。そして、次年度の取組の方向を示したい。ただ、変革の“本丸”は授業である。“自育力”・“表現力”の更なる育成とともに、アクティブ・ラーニングによる「自立した学習者」の育成にも挑みたい。

今年、“みんなの向陽中学校”は開校 70 周年を迎える。この“みんなの”には、生徒一人一人が「他の誰でもない、私がやる！」の気持ちで向陽中をつくるという願いを込めた。私はこの記念すべき 70 周年を向陽中生一人一人が“依存”や“待つ”姿勢から抜け出すスタートの年にしたい。大人への“依存”、教えられることを“待つ”姿勢を「私がやる！」という“自立”に変えたい。なぜなら、生徒が直面するであろう、より多様化し、国際化している社会で、挑戦し、失敗をバネにしながら力強く生きていく力につながると信じるからである。

# 12月中旬から今日までの主な行事

## 命を守る講話 12月14日(水) 5校時

12月14日(水) 全校生徒が体育館で、高井戸警察署からご紹介いただいた伊藤秀子様をお招きし、ご家族を犯罪で喪われた実話にもとづいた「命の尊さ」についての講話を聴きました。保護者の方々にもご参観いただき、厳粛な雰囲気の中で伊藤様の講演を受け止め、「世の中に大切な命は一つもない。一人一人がかけがえのない存在」という言葉をかみしめました。



## 笑育「落語出前授業」12月15日(木)

12月15日(木) 学年ごとに図書室に集まり、三遊亭鳳志師匠と師匠のお弟子さんによる「落語出前授業」を受けました。この授業は、日本の伝統的芸能である落語を通じて自己表現を豊かにすることをめざして取り組みました。冒頭で入(退)場の太鼓の音に観客を招き入れる意味があること、扇子などの小道具の使い方、身のこなしで男女の役柄を使い分けることなどを教えていただきました。そして実際の落語を通じ、聴き手を笑わせながら自然と鼻に引き込んでいく日本の伝統的話術の素晴らしさを学びました。



## Cafe (カフェ) 勉「書き初め教室」1月7日(土) ゆうゆう永福館

地域の協力により、冬休みの1月7日(土)にカフェ勉「書き初め教室」が開催されました。3名の中学生と1名の小学生と1名の高校生と参加児童生徒は少なかったですが、4名の講師の先生方に一つ一つききりのご指導を受け、参加した生徒たちは完成作品に大満足。見守ってくださった方々から賞賛の拍手を受けました。終了後は、ボランティアの方々を作ってくださいましたお汁粉とお菓子を食べました。



表彰

○ 第十七回JHSバスケットボールフェスティバル 優勝 男子バスケットボール部

《今後の予定》(1月~2月)

- 17日(火) 一斉委員会・中央委員会
- 18日(水) 杉教研 ⑤校時カット
- 19日(木) 食育の日
- 20日(金) 英語検定
- 21日(土) レスキュー隊
- 23日(月) 生徒会朝礼 都立推薦入試出願
- 25日(水) 私立入試出願

- 26日(木) 都立推薦入試~27日(金)
- 27日(金) 1年生 校外学習(都内巡り)
- 2/5日(日) 東京駅伝
- 6日(月) 全校朝礼
- 7日(火) 2年生 スキー教室~10日(金)
- 10日(金) 3年生 私立一般入試開始
- 14日(火) 理科出前授業(1年生)
- PTA運営委員会・総会